

## 指定都市市長会 名古屋宣言 ～子ども応援宣言～

人口減少・少子高齢社会が到来するとともに、グローバル化と高度情報化が進展する中で、社会ニーズは多様化の一途をたどり、社会構造が大きく変化している。

そうした中、子どもが未来に希望を持ち、自らの可能性を最大限に伸ばしながら成長していけるよう、子どもの育ちと「大きくなったら何になるの？」という将来の針路を応援する仕組みが求められているが、子どもの抱える課題は多様化・複雑化・困難化しており、教職員の指導体制の充実だけでなく、心理や福祉等の教育以外の専門的見地からの積極的なアプローチも求められている。

国においては、「チームとしての学校」を掲げ、多様な専門性を持つスタッフを配置し、子どもが抱える課題に社会全体で取り組むスキームを創出し、財源措置を行うなど、子どもを応援する施策を押し進めている。

各指定都市においても、いじめ・不登校の未然防止や子どもの健やかな育ちを応援するために、行政や学校に加え、専門的知識・経験を持つスタッフ等が連携し、社会全体で子どもを支えていくための様々な取組を行っており、子どもが自信を持ち、自ら考え、学ぶことができるようになるなどの成果が表れている。例えば、名古屋市においては「チームとしての学校」のフロントランナーとして「なごや子ども応援委員会」を立ち上げ、常勤スクールカウンセラーなどの専門的知識・経験を持つスタッフを配置するなど子どもとその家族へ多角的なアプローチを行っているところである。

「子に過ぎたる宝なし」と言われるが、将来の社会を担う子どもは「家族の宝」であると同時に「社会の宝」である。その宝を健やかに育むことができるよう各指定都市は、率先して子どもが直面する問題へ自主的・自立的に対応するとともに、国との対話を積極的に行いながら、子どもを応援する施策を充実させていかなければならない。

指定都市は、これまでの取組で培ってきた知恵と力を最大限生かすことで、子どもが未来に希望を持ち、自らの可能性を伸ばしながら成長し、社会に主体的に参画していけるよう、先駆的かつ先導的役割を果たし、子どもを応援することをここに宣言する。

平成 28 年 5 月 30 日  
指定都市市長会